

Report
camera



ぐるり庄原 カメラ レポート



自慢の歌声を披露

合併記念でBSカラオケ塾

新市の合併記念事業として、10月16日(日)、NHKの番組「BSカラオケ塾」の公開録画が市民会館で行われ、県内外からおよそ900人が集まりました。

この番組は、ゲスト歌手の歌を一般の応募者が指導を受けながら歌うもので、当日はゲストに氷川きよしさん、渡辺真知子さんが登場。生徒役の募集には50人近い応募がありましたが、オーディションで4人が選ばれました。4人は、プロからの直接指導でみるみる上達し、ステージで熱唱を披露していました。また撮影終了後には、氷川さんと渡辺さんがそれぞれ歌を披露され、会場からは拍手と声援が送られていました。



プロの指導で上達していく参加者に、会場からは大きな拍手がおくられていました



手に汗にぎる熱戦

第9回しょうばら桜花杯空手道大会



鋭い上段蹴り

10月2日(日)、総合体育館で、第9回しょうばら桜花杯空手道大会が開催されました。

この大会は、市と庄原市空手道連盟、総合体育館が実行委員会を結成し取り組んでいる大会で、平成8年に庄原市が会場となった国体の空手道大会の成功を記念し開催されているものです。

当日は、修練を重ねた14団体・総勢約300人の選手が一堂に会し、組み手の部、形の部でそれぞれ熱戦を展開。総合の部では、地元の庄原空手道スポーツ少年団がみごと準優勝に輝かれました。おめでとうございます。



息の合った形の演技



仕事を通して生き方を学ぶ

高野中学生徒が職場体験学習



指示を聞いて商品を陳列する生徒

職場体験を通してこれからの自分の生き方を考えようと、高野中学校2年生20人が10月6日(木)・7日(金)の両日、高野町の10事業所で職場体験をしました。

庄原消防署高野出張所を訪れた生徒は、消火活動や人命救助の訓練を体験し、消防業務の厳しさに驚いていました。また、スーパーでレジ打ちを体験した高橋君は「お客さんに大きな声で挨拶をするのが意外と大変」と接客の難しさを感じていました。2日間生徒を指導した築木さんは、「仕事の厳しさ、お客さんに喜んでもらえる楽しさを感じてほしい。将来一緒に働けるようになれば」と生徒の成長を願っていました。(文章は、高野支所で広報業務を体験した2年生の新林政治さんによるものです)



広報取材を体験した新林政治さん(写真右)



イベントと食を満喫

第13回やまびこ祭・第5回みのりの祭典'21

10月9日(日)、庄原市の合併記念イベントとして「第13回比和やまびこ祭」と「第5回みのりの祭典'21」が、比和総合運動公園で同時開催され、晴天の中、約5,000人ももの来場者がありました。



県の無形民俗文化財に指定されている供養田植

祭りでは、地元の比和中学校生徒による「比和牛供養田植」や、市内外からの出演者のステージ発表が来場者を沸かせ、チーム対抗で行われた「そば食い競争」では、そば打ち同好会の皆さんが当日に打った比和産のそばを、参加者があつという間に食べ尽くすシーンに会場は盛り上がりました。また出展コーナーでは、恒例となった広島牛の丸焼きや、庄原市各地域の特産品が所狭しと並び、多くの人でにぎわう一日となりました。



そばの早食いに挑戦!



長年の活動に総務大臣表彰

行政相談委員の田邊剛さん



「お気軽にご相談を」と田邊さん

総領町在住で、現在、行政相談委員として活動されている田邊剛さんが、このたび総務大臣表彰を受けられました。

田邊さんは、平成元年に行政相談委員に委嘱されてから現在までの16年間、行政に関する住民からの相談に応じ、住民と行政とを結ぶ掛け橋として活躍してこられ、その業績が評価されての受章となりました。

相談は、毎月1回、総領健康福祉センターで定期的に行われるほか、随時電話などでも受け付けています。



生き生きと自分らしさを表現

造形教育研究大会

10月21日(金)、西城保育所、西城小・中学校を会場に、第44回広島県造形教育研究大会が開催されました。当日は、公開授業と分科会、さらには研究発表と記念講演が行われ、県内の各学校や教育機関などから多くの教職員や教育関係者が参加。会場では、子どもたちの創意工夫によって作られた作品が展示され、また公開授業では、実際にのこぎりやドリル、カッターなどを使って作品を完成させるなど、子どもたちの生き生きとした取り組みが紹介されました。

造形教育では、創る喜びを体験し、互いの表現を認め合いながら人間関係を形成するなど、重要な役割を持っています。豊かな人間性と確かな学力を身につけるための基本となる、自己表現、自己創造力、そして、主体的な意欲の形成を目標とし、保育所、小・中・高校が連携をして積極的に取り組みを進めています。



生き生きと創作に取り組む児童



多くの人が集い、ふれあう2日間

ふれあい東城まつり



ソーラン節の舞いでステージを盛り上げる

10月22日(土)・23日(日)の2日間、東城小学校グラウンドをメイン会場として、第23回ふれあい東城まつりが開催されました。

1日目は、東城保育所園児と東城女性組織連絡協議会による開会セレモニーの後、広島県警音楽隊による演奏・ソーラン・マリンバ演奏が、夜の部では、町内の音楽・芸能活動の発表会「ふれあいの夕べ」が行われました。

また2日目は、歌謡ステージやバンドライブ、ちびっこすもう大会などがあり、大人から子どもまで多くの人を楽しめるイベント盛りだくさんの祭りに、2日間で約3,400人が訪れました。



東城保育所の園児が竹太鼓演奏



笑って泣いて元気にくらそう

わいわいフェスタを開催



元気いっぱい子ども神楽

第6回口和健康福祉祭(わいわいフェスタ)が、10月23日(日)、口和文化ホールヒューマンライツで開催されました。

わいわいフェスタ実行委員会主催のこのフェスタでは、地域内外の各団体が、バザーや展示、ステージ発表などで参加。あいにくの空模様にもかかわらず、骨密度などの健康チェックコーナーや健康クイズには多くの人が訪れ、屋外のバザーコーナーも売り切れが続出しました。ふれあい作業所のハンドベル演奏で幕をあげたステージ発表では、聖慈・みどりの2保育所の神楽や歌、柔道教室のソーラン節の踊りなどが披露され、午後からはRCCアナウンサーの本名正憲さんの講演会がありました。感動して涙を流し、腹の底から笑って元気になろうとの話を、参加者はうなずきながら楽しく見聞きしていました。



骨密度で骨の健康をチェック